



# 組織・概要

山口県は三方が海に開け、多種多様な水産資源に恵まれており、古くから水産業がさかんに営まれています。しかし、近年、水産資源の減少、漁場環境の変化、基礎生産力の低下、魚価の低迷等水産業をとりまく環境はますます厳しくなっています。水産研究センターでは、これらの諸問題を解決するため、調査研究と技術開発に取り組んでいます。

組織名	業務内容及び研究課題	
総務課	庶務、予算経理、施設管理	
企画情報室	試験研究の企画・調整、研究予算調整、広報活動	
漁業調査船	漁業調査船(かいせい、すおう)の運航管理	
外海研究部		
海洋資源グループ	<b>水産海洋</b>	
	・海洋観測	
	・漁海況・漁場予測(マアジ、いわし類)情報の提供に関する研究	
	・スマート漁業の推進	
	<b>水産資源</b>	
	・主要浮魚類(マアジ・いわし類・ブリ類等)の資源動向に関する研究	
	・主要底魚類(ヒラメ・かれい・あまだい類等)の資源動向に関する研究	
	<b>新技術導入・開発</b>	
	・定置網の数量管理のための技術開発	
	増殖加工グループ	<b>水産増養殖</b>
		・ハタ類(キジハタ・クエ)の資源管理に関する研究
		・ナマコの資源増大に関する研究
		・キジハタ生態調査
		・シロアマダイ生態調査
・養殖魚の魚病診断と対策指導(外海)		
・やまぐち型養殖の普及に向けた実証研究		
<b>漁場環境保全</b>		
・赤潮・貝毒発生監視調査研究(外海)		
・日本海における大規模外洋性赤潮の被害防止対策		
<b>利用加工</b>		
・海洋環境変化に対応した利用加工に関する研究		
・水産加工研修の場の提供事業		
内海研究部		
海洋資源グループ	<b>水産海洋</b>	
	・海洋観測	
	・リ養殖漁場における栄養塩動向の解明	
	<b>漁場環境保全</b>	
	・ナルトビエイの行動生態調査	
	・赤潮・貝毒および新奇有害プランクトンに関する調査研究	
	・赤潮早期警戒システム構築に関する研究	
	<b>水産資源</b>	
・瀬戸内海側における主要魚種の資源動向に関する研究		
・漁業調査船を用いた小型エビ類などの資源研究		
増殖病理グループ	<b>水産増養殖</b>	
	・内水面の重要疾病に関する調査研究	
	・魚病診断と対策指導(内海)	
	・高級二枚貝タイラギの先端的養殖技術の開発	
	<b>漁場環境保全</b>	
	・栄養塩の変化に伴う二枚貝餌料環境に関する研究	
	・溪流魚資源増大調査事業	
・内水面重要生物調査試験事業		
・アユ資源回復対策事業		